

リードギターのアレンジ ドライブ系リードギター

ドライブ系リードギターの名演

- 天国への階段 / レッド・ツェッペリン
- HOTEL CALIFORNIA / イーグルス

要チェック！！

サウンドメイク



Marshall JCM800を程よくドライブさせたロック系サウンド。

GuitarRigでLEAD 800 をチョイス、Boostスイッチはオン。
前段にブースターとしてSkreemer をインサート。音源はレスポール系音源のリアピックアップ使用。伸びやかなソロにはフロントも使うが、このようなスピード感あるソロにはリアが向いている。

DAW側でEQでローカット、ディレイ、リバーブを強めにかける。

「天国への階段」風リードギター

打込みのポイント

出だしのスタッカートは音の切れ側に
ミュートのアーティキュレーションを入れるとリアル。
直後のチョーキングはゆっくりルーズにベンドさせたく
フリーハンドで入力、ベンド幅は±4。

6連シーケンスは一回一回タイミングやチョーキングの音程を変える方がリアル。

ダブルチョーキングはトラックを分ける。

「天国への階段」風リードギター

The screenshot shows a Cubase Pro guitar track with several annotations in Japanese:

- ミュート音** (Mute sound): A red dashed line indicates a mute effect.
- 6連符のシーケンス** (6-measure sequence): A box highlights a sequence of six notes.
- チョーキング** (Bending): Annotations point to specific bends in the lead line.
- プリング** (Picking): A box highlights a picking pattern.
- S Vib g.** (Sustain, Vibrato, Gain): Annotations point to sustain, vibrato, and gain effects.
- ダブルチョーキングなどを別トラックに打つ** (Hit double bends etc. on a separate track): A note indicating that double bends are recorded on a separate track.

The interface includes the Inspector, MIDI Editor, and various effect racks on the right side.

「Hotel California」風リードギター



ツェッペリンのような野性的なハードロックよりも緻密なアレンジが目立つ。
ペンタトニックのみでなく、メロディックマイナーやクロマチックアプローチも使った、
よりコンテンポラリーなリードプレイ。

サウンドメイク



クリーンなTwin Reverb をエフェクトでドライブさせるセッティング。
ドン・フェルダー（イーグルス）のインタンビュに倣い、ペダルコンプを2台インサート。

Twang Reverb をチョイス、2台のコンプの後にSkreemer をインサート。
2台のコンプでしっかりゲインとサスティンを稼ぐのでドライブを下げめで
マイルドな歪みながら粘りとサスティンの強いリードサウンドになった。

コンプ+ODでサスティンのあるドライブサウンドを作るのは
ギターのサウンドメイクとして定番の一つ。

「Hotel California」風リードギター

打込みのポイント

出だしのフレーズはロックンロールでも使われる定番フレーズ。
3音1セットのシーケンスだが、毎回チョーキングの設定は変える。トラックは分ける。

休符位置やスタッカートの切れ側にミュートのアーティキュレーションを入れる。

2小節目以降はクロマチックアプローチが多く使われる。3小節目はIVmに対しメロディックマイナーが、4小節目はV7のコードトーンに対してクロマチックアプローチが使われ哀愁を感じさせる。
この様にペンタトニック以外のスケールを取り入れていくと王道のロックとは違う雰囲気を作る事ができる。

ロングトーンはベンドでビブラートと切り側にグリッサンドを打つ。
波の大きさや位置はランダムに。

「Hotel California」風リードギター

The screenshot displays the Cubase Pro interface for a guitar lead track. The main window shows a piano roll with a red line representing the lead's volume envelope and a MIDI piano roll below it. The piano roll contains notes for chords (C), vibrato (Vib.), sustain (S), and bends (g.). A blue box highlights a section of the volume envelope with the text "ミュート音" (Mute sound). Below the piano roll, a blue box highlights a section of the MIDI piano roll with the text "チョーキングが重なる箇所は別トラックに打つ" (Where bends overlap, hit on a different track). The interface includes a sidebar with various settings and a top menu bar.

ミュート音

チョーキングが重なる箇所は別トラックに打つ